

エコアクション21

# 環境活動レポート

平成29年度

運用期間 平成29年9月 ～ 平成30年8月



作成日 平成30年10月

金子建設興業 株式会社

# 1 環境方針

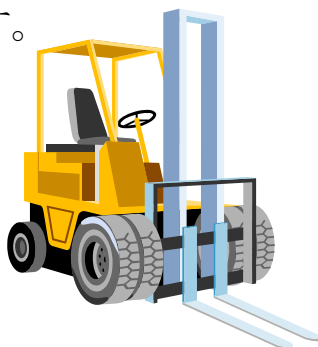
## 【基本理念】

金子建設興業 有限会社は、土木工事の施工を通じて持続可能な循環型社会づくりに貢献する為、資源再利用を促進し、「地球に優しい企業」を基本理念とします。



## 【行動指針】

- 1.) CO2排出削減に取り組みます。
  1. 事務所と現場で省エネの実施。
  2. 車両や重機のエコドライブを実施し、ガソリンや軽油の削減に努めます。
- 2.) 産業廃棄物(建設系廃棄物)のリサイクル率を向上させます。
- 3.) 建設資材の再生材等のエコ商品を使用するよう努力します。
- 4.) 事業活動において無駄な水使用を削減します。
- 5.) 電光板等太陽光発電式の機材を使用します。
- 6.) 環境関連法を遵守し、事業活動を推進します。
- 7.) この環境方針を全社員に周知徹底するとともに一般にも公開します。



制定日 平成24年11月1日  
金子建設興業 有限会社  
代表取締役 **金子 正男**

## 2 事業の概要

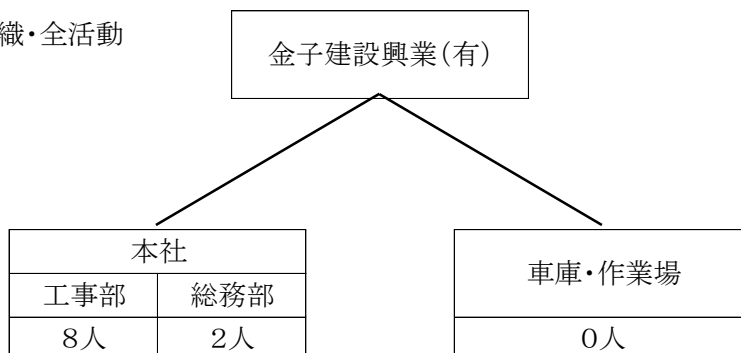
- \* 事業所名 金子建設興業有限会社  
\* 代表者名 代表取締役 金子 正 男  
\* 所在地 (本社)  
〒807-0831  
福岡県北九州市八幡西区大字則松330番地  
(車庫・作業場)  
〒808-0113  
福岡県北九州市若松区大字弘川502-1
- \* 資本金 4100万円  
\* 設立年月日 平成2年12月6日  
\* 環境管理責任者 金子 正 男  
\* 担当者氏名 金子 直 美  
\* 連絡先 TEL (093) 691-3535  
FAX (093) 691-3595  
E-mail [kanekokensetu@r2.dion.ne.jp](mailto:kanekokensetu@r2.dion.ne.jp)
- \* 事業内容 土木工事業 とび・土工工事業  
舗装工事業 しゅんせつ工事業  
水道施設工事業 建築工事業  
一般貨物自動車運送業  
産業廃棄物収集運搬業 許可番号 04000019940号
- \* 事業許可番号 福岡県知事 (特-30) 第76199号  
\* 事業規模

	単位	平成27年度 (H27.9.1~H28.8.31)	平成28年度 (H28.9.1~H29.8.31)	平成29年度 (H29.9.1~H30.8.31)
売上高	千円	26,967	31,710	25,383
従業員数	人	11	11	11
床面積 (本社) (車庫)	m2	54	54	54
		2,026	2,026	2,026

事業年度 9月1日~8月31日

## 認証・登録範囲

全組織・全活動



# 許可内容

## 産業廃棄物収集運搬業

許可番号	04000019940号
許可の年月日	平成30年5月7日
許可の有効年月日	平成35年5月6日
許可登録地域	福岡県
積替保管	無
許可品目	<p>・廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等 (以上3品目については、自動車等破砕物を除く)</p> <p>・汚泥 (含水率85%以下のものに限る)</p> <p>・木くず、がれき類 (廃プラスチック類、木くず、ガラスくず等、がれき類については石綿含有産業廃棄物を含む)</p> <p style="text-align: right;">以上6品目</p>

## 受託した産業廃棄物収集運搬量の実績

単位	26年度	27年度	28年度	29年度
t	448	452	463	472

# 産業廃棄物収集運搬車両の種類・台数

種類	車両重量(kg)	積載量(kg)
10tダンプトラック	10,780	9,100
10tダンプトラック	10,780	9,100
10tダンプトラック	11,080	8,800
10tダンプトラック	10,670	9,200
4tトラック	4,000	3,800
2tトラック	2,700	2,000



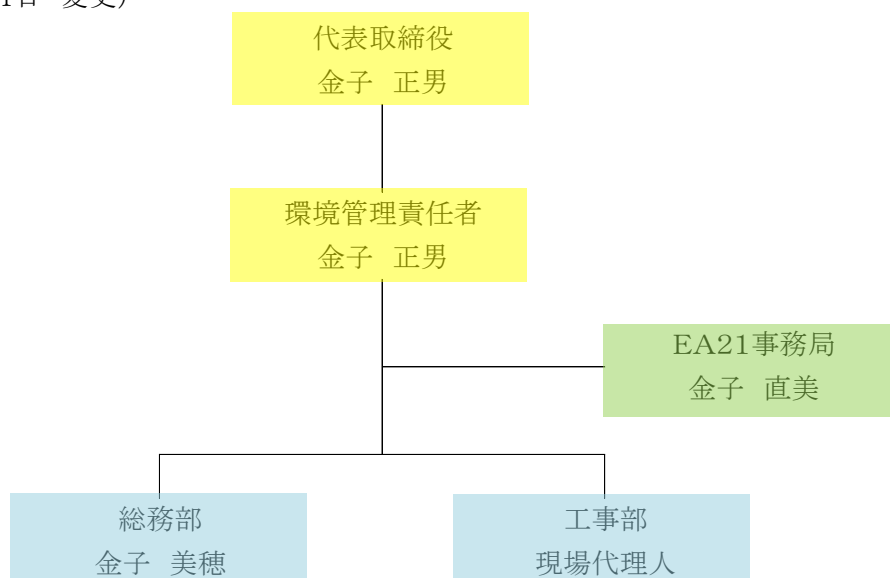
4 tトラック



2 tトラック

### 3 実施体制

(平成29年5月1日 変更)



#### 《 役割分担表 》

氏名	役職	役割・責任・権限・使命
金子 正男	代表取締役	全体の総括、環境方針の設定。 環境への取組みを実施するための資源の準備、 全体評価を見直し。
金子 正男	環境管理責任者	全体の把握/環境管理責任者 環境経営システムを構築し、運用し、その状況を 社長に報告する。
金子 直美	EA21事務局	EA21文書及び記録類の作成・維持・管理
金子 美穂	総務部	電力・水・ガス・車燃料(ガソリン・軽油)灯油、 消費量等管理
現場代理人	工事部	廃棄物の排出量管理、リサイクル率管理 建設現場のエネルギー削減、環境経過管理
全従業員		決められたことを守り、積極的に環境活動へ 参加する。

## 4 環境目標

### 平成29年度環境目標

環境目標	単位	H23年度 (基準年度)	H29年度 目標	H30年度 目標	H31年度 目標	H32年度 目標
二酸化炭素排出量 の削減	kg-CO <sub>2</sub>	191,669	182,086 ▲5%	171,160 ▲6%	159,179 ▲7%	146,445 ▲8%
電力使用量 の削減	kWh	2,192	2,082 ▲5%	1,957 ▲6%	1,820 ▲7%	1,675 ▲8%
灯油使用量 の削減	ℓ	324	308 ▲5%	289 ▲6%	269 ▲7%	248 ▲8%
軽油使用量 の削減	ℓ	69,247	65,785 ▲5%	61,838 ▲6%	57,509 ▲7%	52,908 ▲8%
ガソリン使用量 の削減	ℓ	2,064	1,961 ▲5%	1,843 ▲6%	1,714 ▲7%	1,577 ▲8%
総排水量 の削減	m <sup>3</sup>	357	339 ▲5%	319 ▲6%	296 ▲7%	273 ▲8%
建設廃棄物の処理 顧客要求の達成	%	100	100%	100%	100%	100%
グリーン購入の推進 (車・重機)	件	購入機会ごとにグリーン購入を配慮する。				
地域との協調ならびに 景観保存	回	今以上に地域住民との話し合いを密にする。 溝掃除、草刈りをする。				

備考1: 電気使用量の排出係数は、九州電力の平成22年度の0.386(CO<sub>2</sub>Kg/KWh)を使用した。

備考2: PRTR法対象物質を使用量していないので、化学物質使用量の削減目標を掲げない。

## 5 環境活動計画

運用期間（平成29年9月 ～ 平成30年8月）

### 《電力使用量》

- \* 室内の温度設定を決め、実行する
- \* 長時間席を離れる時、パソコンOFF
- \* 残業時の不要な照明の消灯

### 《総排水量》

- \* 社用車の洗車を必要最小限に留める
- \* 手洗い物等の節水を心がける
- \* 水道配管からの漏水を定期的に点検する

### 《化石燃料使用量》

- \* 室内温度を20度にし細目にストーブを消す
- \* ウォームビズの徹底
- \* エコドライブ等運転方法の励行する
- \* 現場への乗合や共積みの励行
- \* タイヤの空気圧を定期的に確認する
- \* 使わない積載物を降ろして車両を軽くする
- \* 法定速度を守って走行する

### 《建廃処理》

- \* 顧客要求を遂行する

### 《グリーン購入》

- \* 購入機会ごとにグリーン購入に配慮

### 《地域との協調》

- \* 顧客要求を遂行する



## 6 環境目標の実績

運用期間（平成29年9月 ～ 平成30年8月）

環境目標	単位	H28年度 (基準年度)	H29.9～H30.8		判定
			目標	実績	
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	191,669	182,086	166,941	○
電力使用量の削減	kWh	2,082	2,060	2,103	×
灯油使用量の削減	ℓ	308	305	257	○
軽油使用量の削減	ℓ	65,785	65,092	56,532	○
ガソリン使用量の削減	ℓ	1,961	1,940	7,378	×
総排水量の削減	m <sup>3</sup>	339	336	262	○
建設廃棄物の処理 顧客要求の達成	%	100	100	100	○
グリーン購入の推進 (車・重機)	件	購入機会ごとに グリーン購入を配慮する。		購入機会が無 かった	-
地域との協調ならびに 景観保存(溝清掃・草刈)	回	今以上に地域住民との話し合い を密にする。溝清掃、草刈りをす る。		6	○

## 7 環境活動の取組と評価及び次年度の取組内容

運用期間（平成29年9月 ～ 平成30年8月）

目標	判定	活動計画の取組内容	判定	評価	次年度の取組
		二酸化炭素排出量	○		
電力 使用量	未 達	室内の温度設定を決め、実行する	-	夏のエアコンも使用し ない極限のエコ活動 を推進している。 (未達は僅かで誤差 範囲)	今迄の取組を継続す る。
		長時間席を離れる時、パソコンOFF	○		
		残業時の不要な照明の消灯	○		
化石 燃料 使用料	達 成	室内温度を20度にし細目にストーブを消す	○	ウォームビズを徹底 し、灯油使用量の削 減が達成できた。 現場への乗合や共積 みが出来た。	1時間毎に温度計を 確認し、室内温度を 徹底する。 待機中の車両のエン ジンを停止する。 週に一度タイヤの空 気圧の確認をする。
		ウォームビズの徹底	○		
		エコドライブ等運転方法の励行する	△		
		現場への乗合や共積みの励行	△		
		タイヤの空気圧を定期的に確認する	○		
		使わない積載物を降ろして車両を軽くする	△		
		法定速度を守って走行する	○		
総排 水量	達 成	社用車の洗車を必要最小限に留める	○	一人一人が節水を心 掛け良い結果がで た。	達成を今後も継続す る。
		手洗い物等の節水を心がける	○		
		水道配管からの漏水を定期的に点検する	○		
建 廃 処 理	達 成	顧客要求を遂行する	○	達成を今後も継続す る。	達成を今後も継続す る。
ン グ 購 入	-	購入機会ごとにグリーン購入に配慮	-	購入する機会が無 かった。	機会があれば配慮す る。
の 地 協 調 と	達 成	顧客要求を遂行する	○	達成を今後も継続す る。	達成を今後も継続す る。

## 8 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規の遵守状況をチェックした結果、違反はありませんでした。  
また、関係機関により違反の指摘、利害関係者からの訴訟等も過去3年間ありません。

## 9 代表者による全体の評価と見直し

(評価)

昨年に引き続き灯油使用量と総排水量については、目標を達成する事が出来ました。  
今回の目標達成に満足することなく、今後も従業員一同力を合わせよりよい結果を出していきたいと思っております。

また、目標を達成する事が出来なかった項目について、現場が遠方であった事もありますが、休憩中のエンジン停止やアイドリングストップなど細目に行うことによって少しでも目標達成に近い結果を出す事が出来たのではないかと思います。

(見直し)

環境方針、環境目標、環境活動計画の見直しはありません。